



No.20 (通No.99) 2019年11月8日

# てつがく なかにわ 哲学の中庭

リーズレター 2019年立冬

日常に〈てつがく〉…みてきて、感じ考えて、まとめて、伝えてみる試み

## フェアプレーを日常の中に

### ポリネシア人の遺伝子？

『自然は導く』（ハロルド・ギャティ みすず書房）に書かれていたポリネシア人の優秀さ。人間や動物の移動を、「断片的な観察をまとめ、そこから推論する能力が高い。最小の労力で、ほとんど間違ふことなく獲物の居場所を突きとめる」そう。

『オールブラックス』の試合で解説者が「このプレー、何げないようですが、本当にすごいんですよ」と何度も感嘆していた選手たちの能力。それは自国のもつ遺伝子、文化のなせるワザかしらとおもってみるのです。

### Book Bag !

『自然は導く』を買って、読み始めたとき、「どこでもすぐパッと読めるようにしたい!」。イメージは携帯型便利なブック型のブックカバー。でも市販はなさそう。

なら、自分で何とかできないかと考え、思い出したのが年帳バインダー。バックの中ではかさばり、いつのまにか使わなくなった2つが、単行本と新書にぴったり! アレコレ細工をこらして、持ち運びやすく、読みやすく、メモもすぐできるブックバック完成。われながら、「よくできました」。



2つともバーゲンで購入  
赤は売れ行きがわるいようで  
別々に買って、どちらも赤

LEE'S (リーズ)

〒530-0012

大阪市北区芝田2丁目8-15

北梅田ビル35号

リー・ヤマネ・清実

Lee Yamane Kiyomi

ラグビーW杯は南アフリカの優勝で終わりました。日本代表の試合をみるうちに、惹かれて、決勝戦まで熱心にテレビ観戦。紳士的なスポーツのイメージはありましたが、レフェリーと選手との様子や、試合後の選手たちの発言などに、“大人だなあ…、立派だなあ…!”。

フェアプレー。ラグビーでは特に重視されるようですが、テレビでその心を紹介していました。

『自分の良心に照らして、絶対的に恥じない行動をすることを、誇りとするような共通の精神』。

ちょうど神戸のあの教師いじめ問題が報じられた時だったので、やはり思っていました、“日常生活の中にフェアプレーをとり戻さない”と。同じように感じた方も多いのではないのでしょうか。

子供の問題は大人の問題、パワハラ、モラハラ、そして最近はカスハラも尋常でないようです。ネット上

の誹謗中傷、あおり運転も甚かり。いったいどうなってしまったんだろう、わたしたちの社会は…、大人たちは…の感です。

「フェアプレー」。社会的な合言葉として、個々人の日常生活で、自他とももの問いかけとして、広げていきたいものです。

東京の小学校で生徒たち対象の「哲学対話」の活動が注目されているとか。そう、子供の頃から哲学するところ、習慣が大事。抽象度の高い〈概念〉を深く広く考え合う、感じ合う。子供たちから「大人のふりみて、わがふり直せ」と言われたいようにしなくては。

ちなみに個人的には、日常生活での「フェアプレー」の土台にすえている3点。①**尊重**（相手を尊重する）②**意志**（自分の意志をはっきり示す）③**諦観**（＝前向きに諦める＝葛藤を許容し超然と構える）。そう努めている、つもりです。

### 見聞感考 | アンバランスな世の中でバランスよく生きる考

診断士の勉強をしていた時期、“なるほど、そうだ…”と頷いた一つに、「ゆとりの公式」。本試験一次に出て初めて知りました。

「ゆとり」＝（経済的ゆとり＋時間的ゆとり＋空間的ゆとり）×精神的ゆとり。「空間的」が空欄になっていた。全体を見ながら何とか正答をひねり出しましたが、「精神的ゆとり」が要というのは、“たしかに…”。

とはいえ、わかっちゃいるけど、それが難しい。収入と幸福感の関係についての調査研究でも、そもそも「高望みしない」ことが幸福感を高める要因だとか。誰でもがどこかではわかっていて、結局のところ自分の考え方次第だということ。それでも…。

だから宗教が生まれたのだと思います。人が世はいつもアンバランス。それがもっと際立ちそうな今の世。格差、断絶、独占、監視、格付、等等。そして個人のさまざまな事情、状況もある。

宗教にかぎらず、何でもいいから、とにかく何か一つ（あるいは複数相乗的に）、自身にじっくりくるもので、精神の糧になり、心を安定させてくれる何かを見つかる、とり入れる。

心を安定させ、おだやかに日常をすごす。これは年を重ねるほど大事になってくると実感する昨今。ある人は自然の写真撮影、ある人はキリスト教、ある人はピアノ、みな小さな悟りを内々にそなえ鷹揚に現実と相対する姿が潔い。わたくしも一つ、二つあってよかった…!